

2. 身体障害児生活状況調査（18歳未満）結果

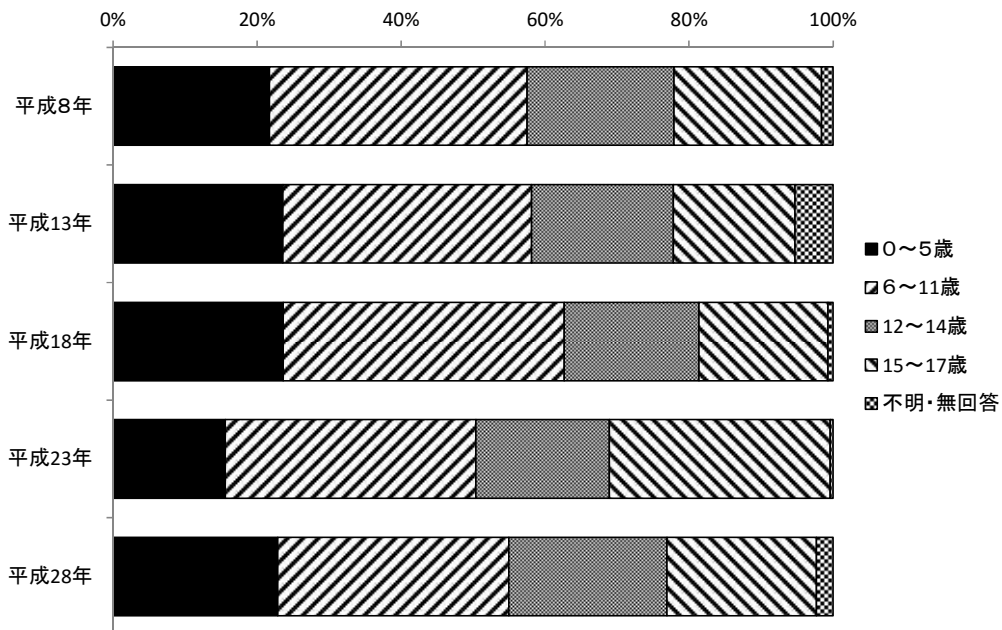
●年齢

年齢構成は、「6～11歳」が32.1%と最も多く、次いで「0～5歳」が22.9%、「12～14歳」が22.0%と続いている。

問1 年齢

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
0・1歳	3.2	1.5	2.8	0.4	4.9
2歳	2.3	4.6	5.0	0.8	2.3
3歳	4.2	4.6	5.4	3.8	5.0
4歳	6.5	6.3	5.2	4.9	6.6
5歳	5.5	6.6	5.2	5.7	4.1
6～11歳	35.8	34.6	39.0	34.8	32.1
12～14歳	20.4	19.7	18.7	18.6	22.0
15～17歳	20.5	16.9	17.9	30.7	20.8
不明・無回答	1.6	5.3	0.7	0.4	2.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	565	590	459	264	442



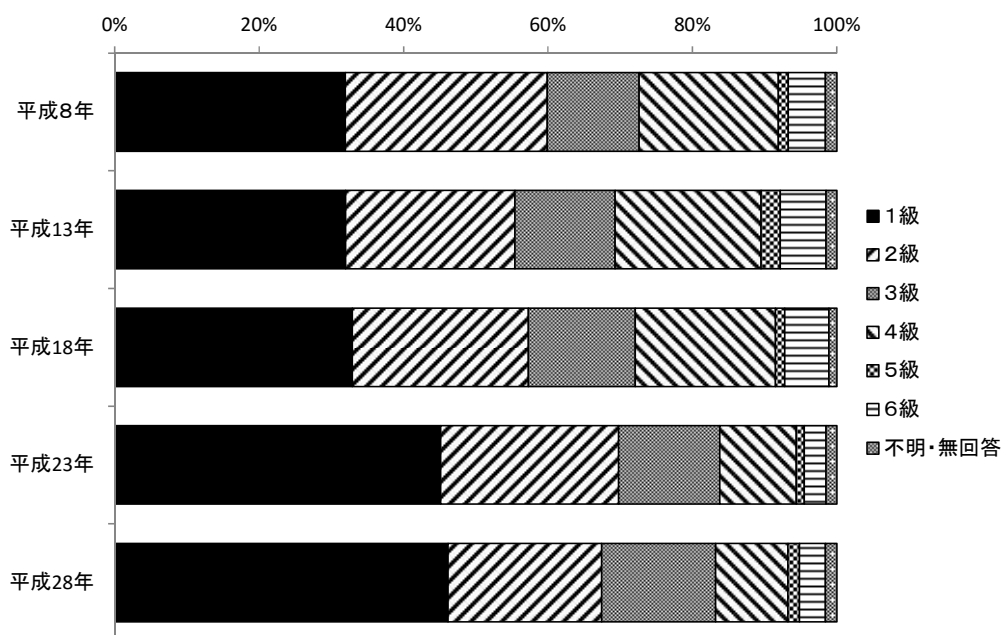
●障害の程度等

障害の程度は、「1級」が46.2%、「2級」が21.3%、「3級」が15.8%、「4級」が10.0%と続いており、「1～2級」の重障害の割合が、約7割となっている。

問7 身体障害者手帳の等級

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
1級	31.9	32.0	32.9	45.1	46.2
2級	28.0	23.4	24.4	24.6	21.3
3級	12.7	13.9	14.8	14.0	15.8
4級	19.3	20.2	19.4	10.6	10.0
5級	1.4	2.7	1.3	1.1	1.6
6級	5.1	6.3	6.1	3.0	3.6
不明・無回答	1.6	1.5	1.1	1.5	1.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	565	590	459	264	442



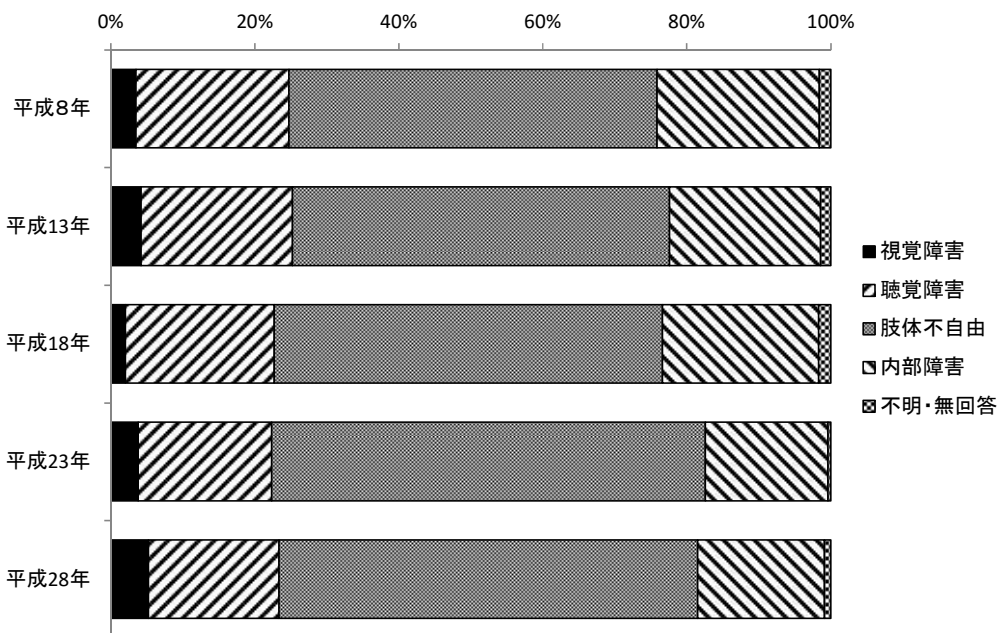
障害の種類では、「肢体不自由」が58.0%で最も多く、次いで「聴覚障害」の18.1%、「内部障害」の17.6%、「視覚障害」が5.2%となっている。

問5 障害の種類

(単位：%)

障害の種類	主な障害	平成8年		平成13年		平成18年		平成23年		平成28年	
視覚障害	視覚	3.5	3.5	4.2	4.2	2.0	2.0	3.8	3.8	5.2	5.2
聴覚障害	聴覚・言語（ろうあ）	19.6	21.2	18.7	21.0	16.1	20.7	15.9	18.6	15.4	18.1
	聴覚・平衡	1.2		1.5		3.3		1.9		1.6	
	音声・言語・そしゃく	0.4		0.8		1.3		0.8		1.1	
肢体不自由	片上肢	2.5	51.0	2.2	52.4	2.0	54.1	3.0	60.3	2.5	58.0
	両上肢	0.9		0.7		2.0		0.8		2.9	
	片下肢	1.2		2.2		0.9		0.4		0.9	
	両下肢	8.8		8.6		9.8		10.2		9.0	
	片上下肢	4.2		3.4		3.3		2.7		2.7	
	四肢	25.8		28.0		25.9		29.2		21.0	
	体幹・脳原性運動	7.6		7.3		10.2		14.0		19.0	
内部障害	心臓	20.0	22.5	17.9	21.0	17.9	21.7	14.4	17.1	12.0	17.6
	じん臓	0.7		0.3		0.9		0.4		0.0	
	呼吸器	0.4		0.5		0.9		0.4		2.0	
	ぼうこう・直腸	1.2		2.0		2.0		1.5		2.0	
	小腸	0.2		0.3		0.0		0.4		0.7	
	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	-		0.0		0.0		0.0		0.0	
	肝臓*	-		-		-		0.0		0.9	
不明・無回答		1.6		1.4		1.7		0.4		0.9	
合計		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0	
n		565		590		459		264		442	

* 平成23年追加項目

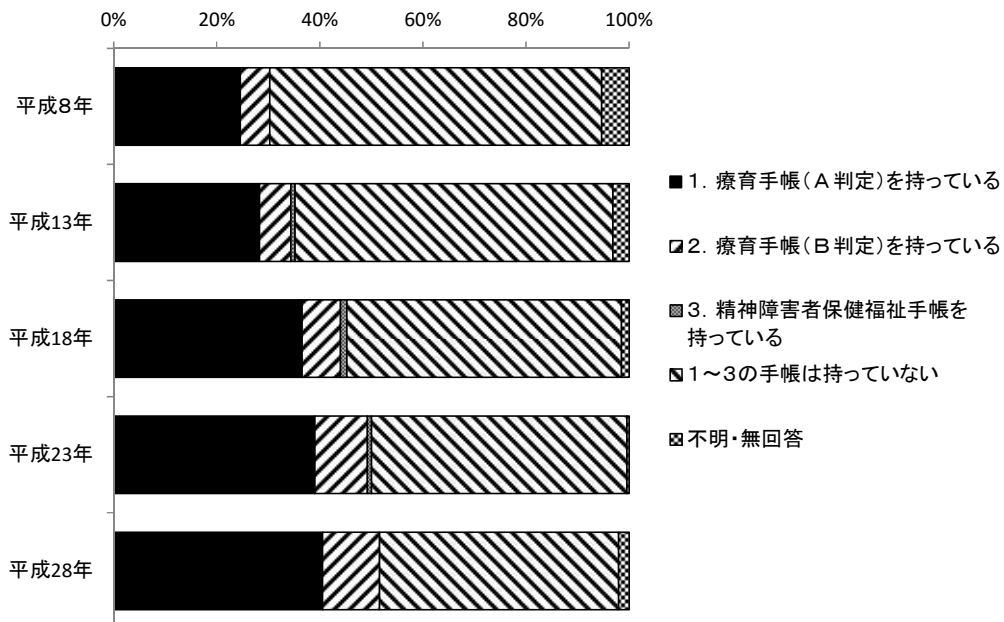


療育手帳等の有無については、「1～3の手帳は持っていない」が46.4%で最も多く、次いで「療育手帳（A判定）を持っている」が40.5%、「療育手帳（B判定）を持っている」が11.1%と続いている。

問10 療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の有無

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
1. 療育手帳（A判定）を持っている	24.6	28.3	36.6	39.0	40.5
2. 療育手帳（B判定）を持っている	5.7	6.1	7.4	10.2	11.1
3. 精神障害者保健福祉手帳を持っている	-	0.8	1.3	0.8	0.0
1～3の手帳は持っていない	64.4	61.7	53.2	49.6	46.4
不明・無回答	5.3	3.1	1.5	0.4	2.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	565	590	459	264	442



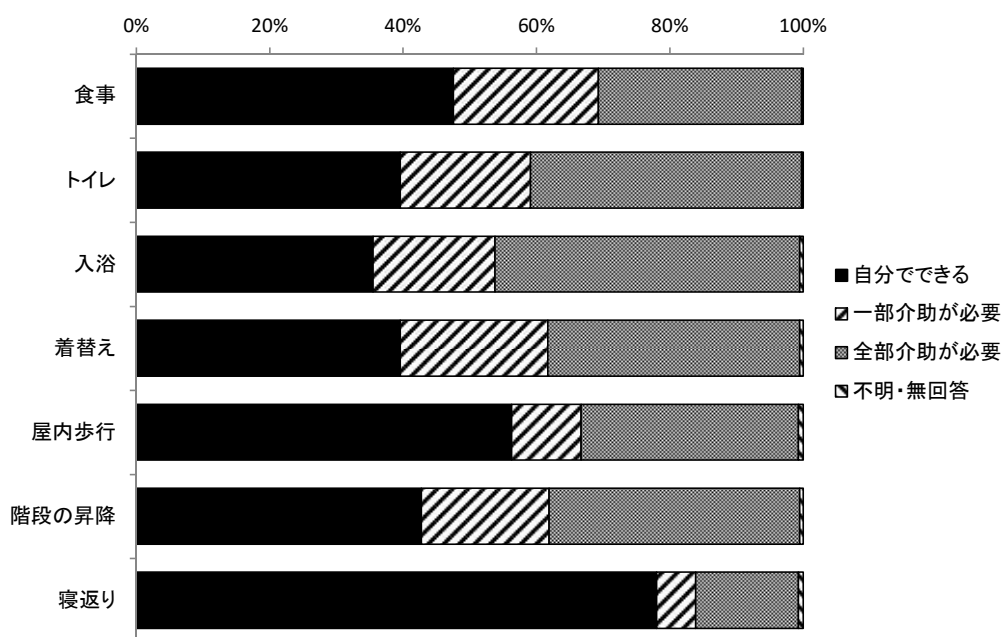
●生活の状況

日常生活動作（IADL）の中で“何らかの介助が必要”（一部介助が必要＋全部介助が必要）とする子どもの割合が高いものは、「入浴」で64.0%，次いで、「トイレ」が60.2%，「着替え」が60.0%，「階段の昇降」が56.8%，「食事」が52.2%，「屋内歩行」が43.0%，「寝返り」が21.3%と続いている。

問 1 4 日常生活動作の状況

(単位：%)

	食事		トイレ		入浴		着替え		屋内歩行		階段の昇降		寝返り	
自分ができる	47.5		39.6		35.5		39.6		56.3		42.8		78.1	
一部介助が必要	21.7	52.2	19.5	60.2	18.3	64.0	22.2	60.0	10.4	43.0	19.2	56.8	5.9	21.3
全部介助が必要	30.5		40.7		45.7		37.8		32.6		37.6		15.4	
不明・無回答	0.2		0.2		0.5		0.5		0.7		0.5		0.7	
合計	100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0	
n	442		442		442		442		442		442		442	



主な介助者は、「母」が90.0%で最も多く、次いで「父」が2.6%であり、「父母」の比率は92.6%に達している。

問15-1 主な介助者

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
父 *1	93.3	4.0	5.9	5.4	2.6
母 *1		90.5	89.9	87.7	90.0
祖父母	1.3	2.4	0.5	1.5	1.3
兄弟姉妹	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の親族	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
近所の人・知り合い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
民間有料介護者（家政婦など）	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
ホームヘルパー	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0
ボランティア	-	0.0	0.0	0.0	0.0
入所施設等の職員 *2	-	-	-	-	1.9
その他	2.4	1.5	3.2	2.3	0.0
主な介助者はいない	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不明・無回答	1.7	0.9	0.0	3.1	4.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	297	327	188	130	310

*1 平成8年は「父」「母」を足した数値

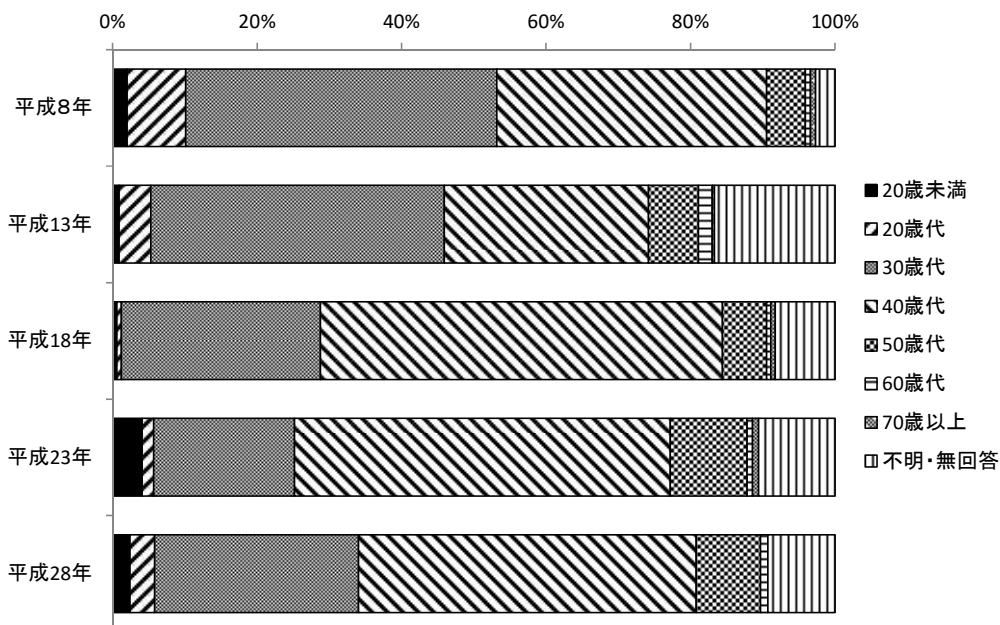
*2 平成28年から新規項目

主な介助者の年齢は、「40歳代」が46.7%、「30歳代」が28.2%となっており、この両者の年齢層で74.9%を占めている。

問15-2-1 主な介助者の年齢

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
20歳未満	2.0	0.9	0.6	4.1	2.4
20歳代	8.1	4.4	0.6	1.6	3.4
30歳代	43.1	40.6	27.6	19.5	28.2
40歳代	37.4	28.3	55.8	52.0	46.7
50歳代	5.4	6.9	6.1	10.6	8.9
60歳代	0.7	1.9	0.6	0.8	1.0
70歳以上	0.7	0.3	0.6	0.8	0.0
不明・無回答	2.7	16.7	8.3	10.6	9.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	297	318	181	123	291



●障害福祉等に関するサービスの利用状況

福祉サービスの利用状況については、ホームヘルプサービス（居宅介護）は、「必要がないので利用したことがない」が50.9%で最も多く、次いで「将来、必要になった時に利用したい」が21.0%、「現在、利用している又は利用したことがある」が17.2%となっている。

問16(1) ホームヘルプサービス（居宅介護）の利用状況

(単位：%)

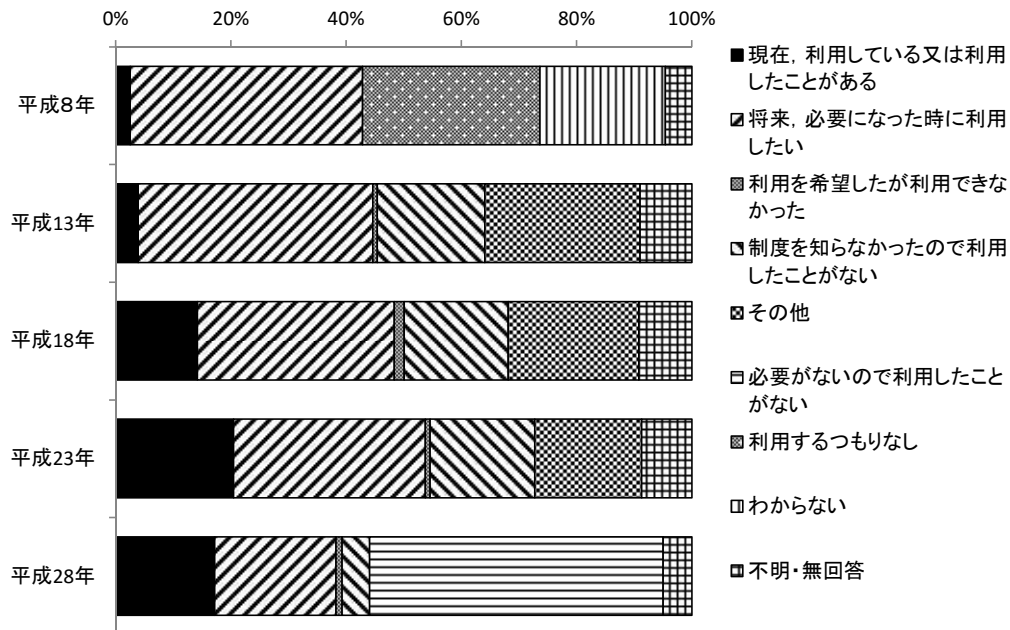
	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	2.5	3.9	14.2	20.5	17.2
将来、必要になった時に利用したい	40.4	40.7	34.2	33.3	21.0
利用を希望したが利用できなかった*1	-	0.8	1.7	0.8	1.1
制度を知らなかったので利用したことがない*1	-	18.6	18.1	18.2	4.8
その他*2	-	26.9	22.7	18.6	-
必要がないので利用したことがない*3	-	-	-	-	50.9
利用するつもりなし*4	30.8	-	-	-	-
わからない*4	21.8	-	-	-	-
不明・無回答	4.6	9.0	9.2	8.7	5.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	565	590	459	264	442

*1 平成13年以降追加項目

*2 平成8年、平成28年削除項目

*3 平成28年追加項目

*4 平成13年以降削除項目



短期入所（ショートステイ）は、「必要がないので利用したことがない」が52.0%で最も多く、次いで「将来、必要になった時に利用したい」が24.7%、「現在、利用している又は利用したことがある」が11.3%となっている。

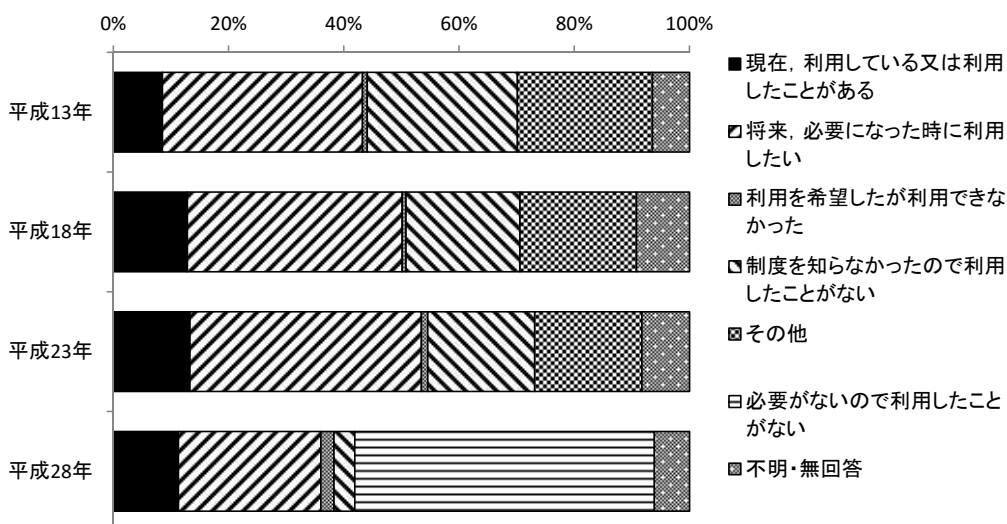
問16(2) 短期入所（ショートステイ）の利用状況

(単位：%)

	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	8.5	12.9	13.3	11.3
将来、必要になった時に利用したい	34.7	37.3	40.2	24.7
利用を希望したが利用できなかった	0.8	0.7	1.1	2.3
制度を知らなかったので利用したことがない	26.1	19.8	18.6	3.6
その他* 1	23.4	20.3	18.6	-
必要がないので利用したことがない *2	-	-	-	52.0
不明・無回答	6.4	9.2	8.3	6.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0
n	590	459	264	442

*1 平成28年度は項目なし

*2 平成28年追加項目



障害児通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス等）は、「現在、利用している又は利用したことがある」が53.2%で最も多く、次いで「必要がないので利用したことがない」が28.5%、「将来、必要になった時に利用したい」が10.6%となっている。

問16(3) 障害児通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス等）の利用状況 *

(単位：%)

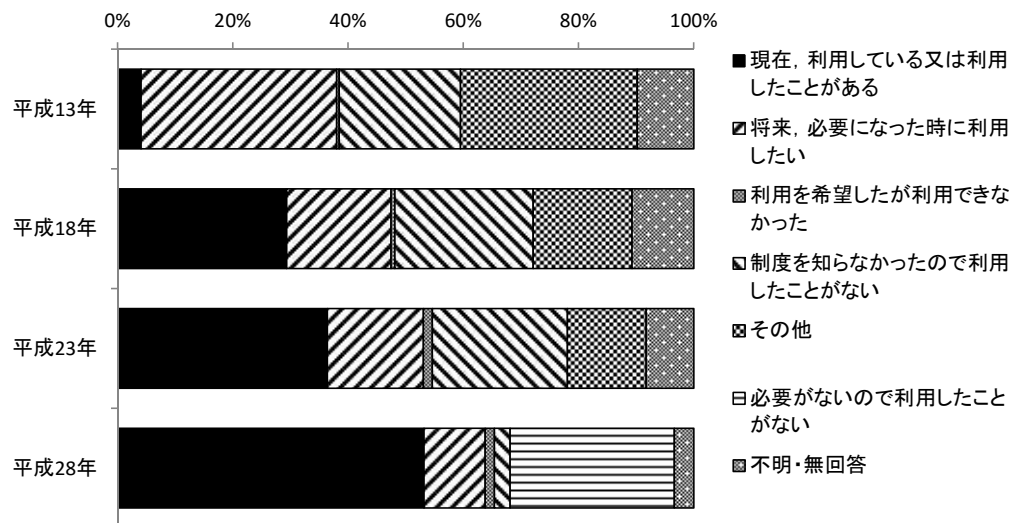
	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	4.1	29.4	36.4	53.2
将来、必要になった時に利用したい	33.9	18.1	16.7	10.6
利用を希望したが利用できなかった	0.5	0.7	1.5	1.6
制度を知らなかったので利用したことがない	21.0	24.0	23.5	2.7
その他 *1	30.7	17.2	13.6	-
必要がないので利用したことがない *2	-	-	-	28.5
不明・無回答	9.8	10.7	8.3	3.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0
n	590	459	264	442

* 平成13年は「日帰り介護（デイサービス）」

平成18年・23年は「児童デイサービス（障害児通園施設を含む）」

*1 平成28年度は項目なし

*2 平成28年追加項目



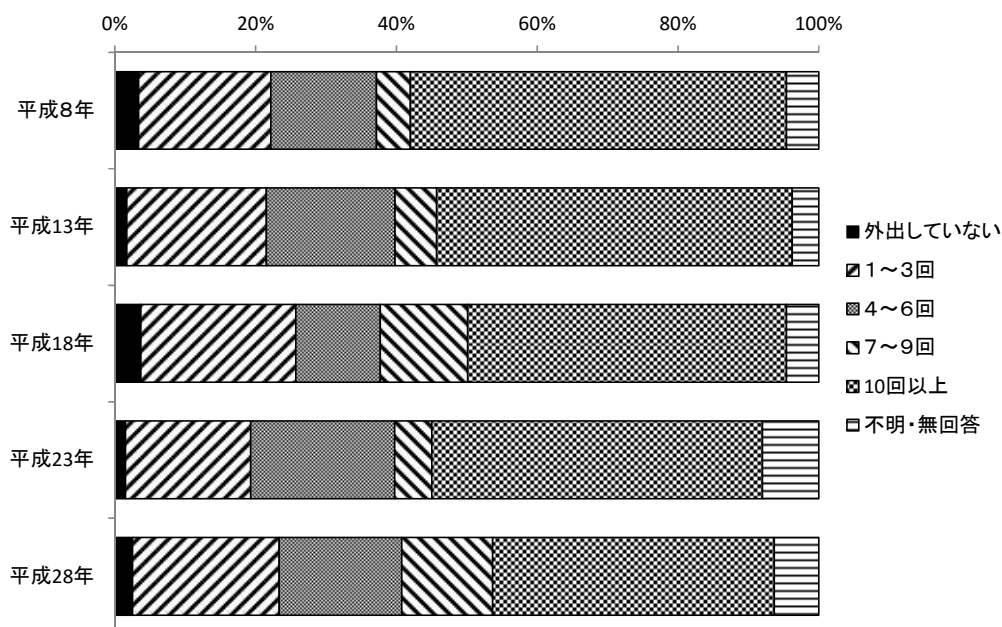
●外出の状況

外出回数（通学以外の場合）については、「月に10回以上」が40.0%で最も多く、次いで「月に1～3回」が20.8%と続いている。

問20（2） 通学以外の場合の外出回数

（単位：％）

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
外出していない	3.4	1.7	3.7	1.5	2.5
1～3回	18.8	19.8	22.0	17.8	20.8
4～6回	15.0	18.3	12.0	20.5	17.4
7～9回	4.8	5.9	12.4	5.3	12.9
10回以上	53.5	50.5	45.3	47.0	40.0
不明・無回答	4.6	3.8	4.6	8.0	6.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	565	590	459	264	442



外出の際の問題点（複数回答）については、「道路や駅に階段や段差が多い」が43.4%で最も多く、次いで「利用する建物の設備（トイレ・エレベーターなど）が不備」が38.9%、「車などに危険を感じる」が32.1%などと続いている。

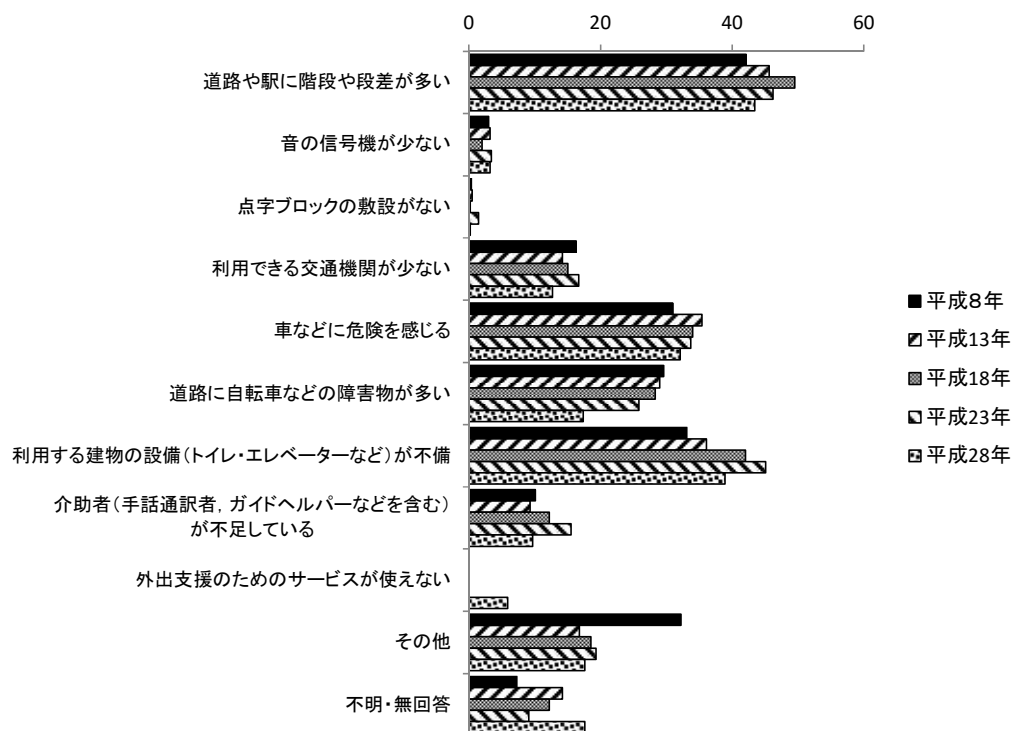
問22 外出の際の問題点（複数回答3つまで）

（単位：％）

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
道路や駅に階段や段差が多い	42.1	45.6	49.5	46.2	43.4
音の信号機が少ない	3.0	3.2	2.0	3.4	3.2
点字ブロックの敷設がない	0.4	0.5	0.2	1.5	0.2
利用できる交通機関が少ない	16.3	14.2	15.0	16.7	12.7
車などに危険を感じる	31.0	35.4	34.0	33.7	32.1
道路に自転車などの障害物が多い	29.6	29.0	28.3	25.8	17.4
利用する建物の設備（トイレ・エレベーターなど）が不備	33.1	36.1	42.0	45.1	38.9
介助者（手話通訳者、ガイドヘルパーなどを含む）が不足している	10.1	9.3	12.2	15.5	9.7
外出支援のためのサービスが使えない*1	-	-	-	-	5.9
その他*2	32.2	16.8	18.5	19.3	17.6
不明・無回答	7.3	14.2	12.2	9.1	17.6
合計	205.0	204.4	213.9	216.3	198.7
n	565	590	459	264	442

*1 平成28年追加項目

*2 平成8年は「困ることはない」を含む



●教育の状況

就学前教育（複数回答）については、「障害児通所支援施設」が55.4%で最も多く、次いで「保育所」が28.7%、「幼稚園」が15.8%と続いている。

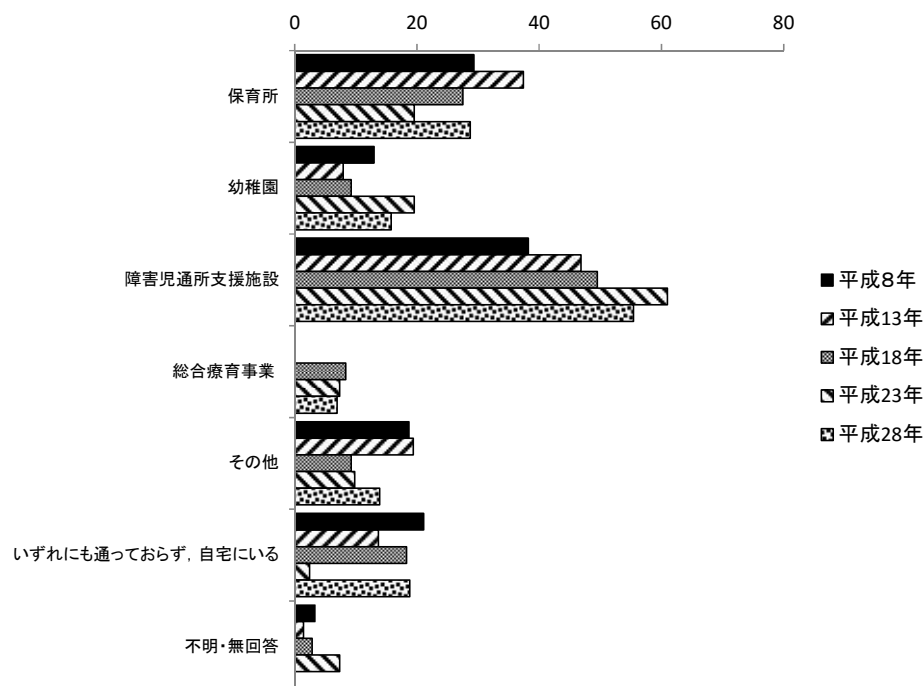
問24-1 就学前教育の状況（複数回答2つまで）

（単位：％）

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
保育所	29.3	37.4	27.5	19.5	28.7
幼稚園	13.0	7.9	9.2	19.5	15.8
障害児通所支援施設 *1	38.2	46.8	49.5	61.0	55.4
総合療育事業 *2	-	-	8.3	7.3	6.9
その他	18.7	19.4	9.2	9.8	13.9
いずれにも通っておらず、自宅にいる	21.1	13.7	18.3	2.4	18.8
不明・無回答	3.3	1.4	2.8	7.3	0.0
合計	123.6	125.0	124.8	126.8	139.5
n	123	139	109	41	101

*1 平成23年までは障害児通園施設

*2 平成23年までは総合療育施設 平成18年以降追加項目



就学状況を小学校・中学校・高等学校別にみると「小学校（部）」では、「総合支援学校【特別支援学校（通学籍）】」が39.7%で最も多く、「普通学校【育成学級】」が23.5%、「普通学校【通常学級】」が22.1%の順になっている。

「中学校（部）」では、「総合支援学校【特別支援学校（通学籍）】」が34.1%で最も多く、「普通学校【通常学級】」が28.6%、「普通学校【育成学級】」が27.5%の順になっている。

高等学校（高等部）」では、「総合支援学校【特別支援学校（通学籍）】」が44.4%と最も多く、「普通学校」が43.1%、「盲学校」が6.9%となっている。

問25-1 就学している学校

(小学校（部）)

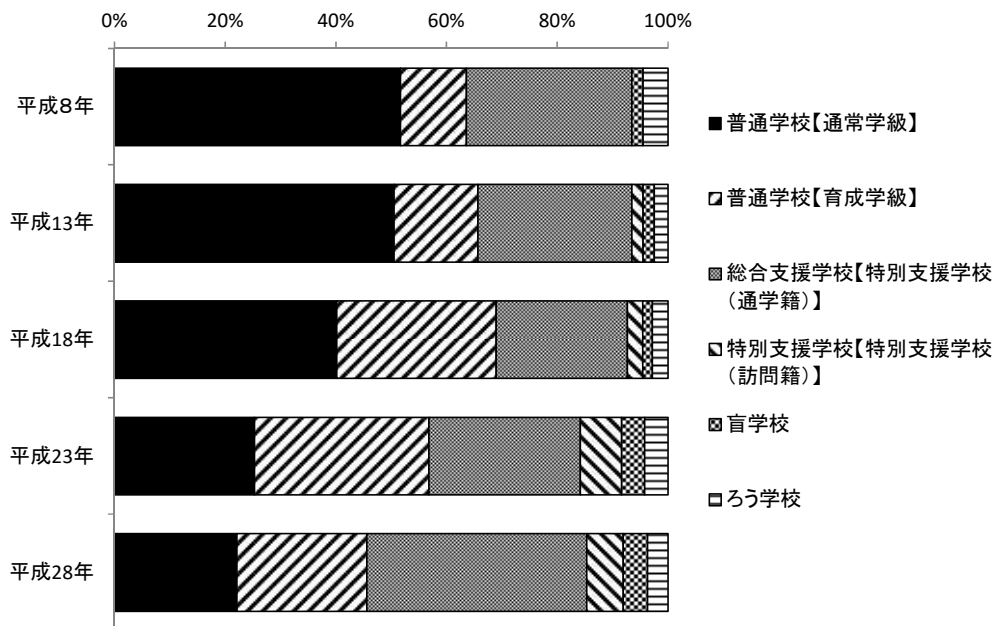
(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
普通学校【通常学級】	51.7	50.5	40.1	25.3	22.1
普通学校【育成学級】*1	11.9	15.2	28.8	31.6	23.5
総合支援学校【特別支援学校（通学籍）】*2	29.9	27.8	23.7	27.4	39.7
特別支援学校【特別支援学校（訪問籍）】*3	0.0	2.0	2.8	7.4	6.6
盲学校	2.0	2.0	1.7	4.2	4.4
ろう学校	4.5	2.5	2.8	4.2	3.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	201	198	177	95	136

*1 平成8年, 13年, 23年は「普通学校【特別支援学級】」

*2 平成8年, 13年は「養護学校」

*3 平成8年, 13年は「訪問教育」



問25-1 就学している学校

(中学校(部))

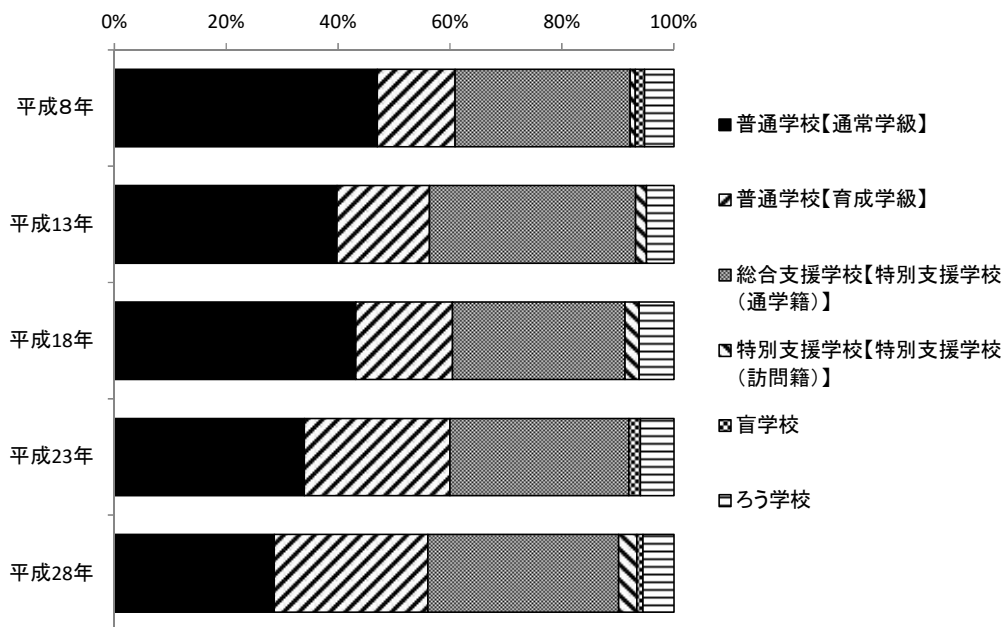
(単位: %)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
普通学校【通常学級】	47.0	39.8	43.2	34.0	28.6
普通学校【育成学級】*1	13.9	16.5	17.3	26.0	27.5
総合支援学校【特別支援学校(通学籍)】*2	31.3	36.9	30.9	32.0	34.1
特別支援学校【特別支援学校(訪問籍)】*3	0.9	1.9	2.5	0.0	3.3
盲学校	1.7	0.0	0.0	2.0	1.1
ろう学校	5.2	4.9	6.2	6.0	5.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	115	103	81	50	91

*1 平成8年, 13年, 23年は「普通学校【特別支援学級】」

*2 平成8年, 13年は「養護学校」

*3 平成8年, 13年は「訪問教育」



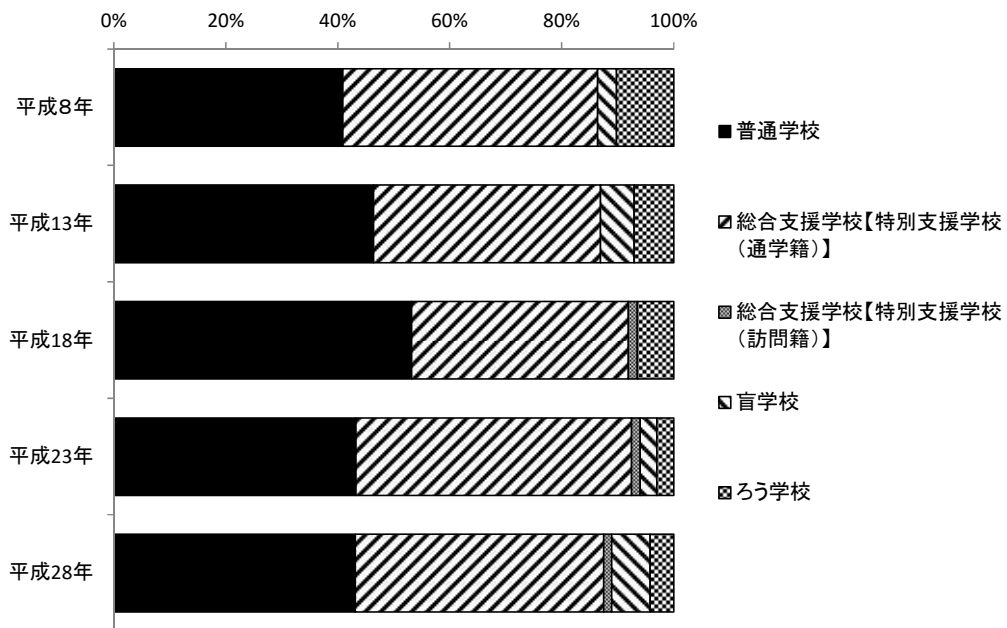
問 2 5 - 1 就学している学校

(高等学校 (高等部))

(単位 : %)

	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
普通学校	40.9	46.4	53.2	43.3	43.1
総合支援学校【特別支援学校 (通学籍)】*	45.5	40.5	38.7	49.3	44.4
総合支援学校【特別支援学校 (訪問籍)】*			1.6	1.5	1.4
盲学校	3.4	6.0	0.0	3.0	6.9
ろう学校	10.2	7.1	6.5	3.0	4.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	88	84	62	67	72

* 平成 8 年, 13 年は「養護学校」

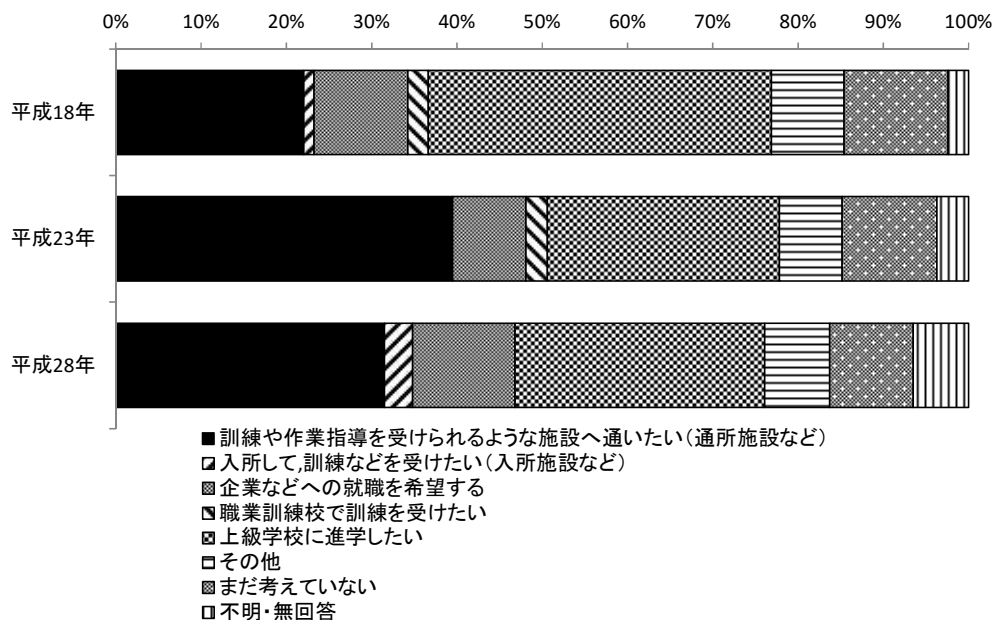


高等学校（高等部）卒業後の進路希望については、「訓練や作業指導を受けられるような施設へ通いたい」が31.5%と最も高く、次いで「上級学校に進学したい」が29.3%となっている。

問25-2 卒業後の進路希望

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
訓練や作業指導を受けられるような施設へ通いたい (通所施設など)	22.0	39.5	31.5
入所して、訓練などを受けたい(入所施設など)	1.2	0.0	3.3
企業などへの就職を希望する	11.0	8.6	12.0
職業訓練校で訓練を受けたい	2.4	2.5	0.0
上級学校に進学したい	40.2	27.2	29.3
その他	8.5	7.4	7.6
まだ考えていない	12.2	11.1	9.8
不明・無回答	2.4	3.7	6.5
合計	100.0	100.0	100.0
n	82	81	92



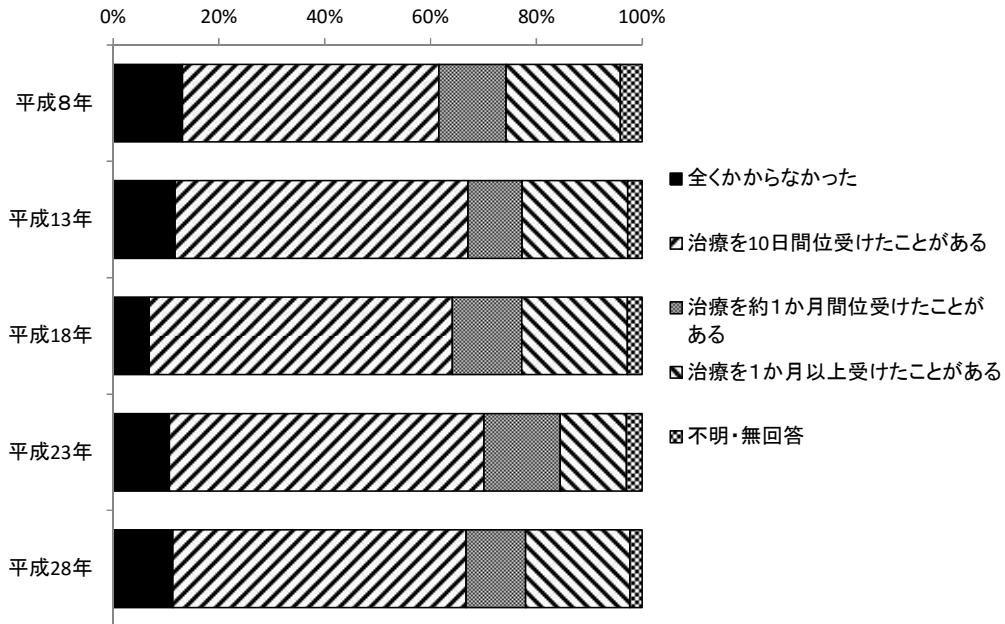
●健康・医療などの状況

過去1年間の治療状況については、「治療を10日間位受けたことがある」が55.4%で最も多く、次いで「治療を約1か月以上受けたことがある」が19.7%と続いている。「治療を受けた」人は、86.4%となっている。

問26 過去1年間の治療の状況

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
全くかからなかった	13.1	11.7	6.8	10.6	11.3
治療を10日間位受けたことがある	48.5	55.4	57.3	59.5	55.4
治療を約1か月間位受けたことがある	12.7	10.2	13.1	14.4	11.3
治療を1か月以上受けたことがある	21.6	20.0	20.0	12.5	19.7
不明・無回答	4.1	2.7	2.8	3.0	2.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	565	590	459	264	442

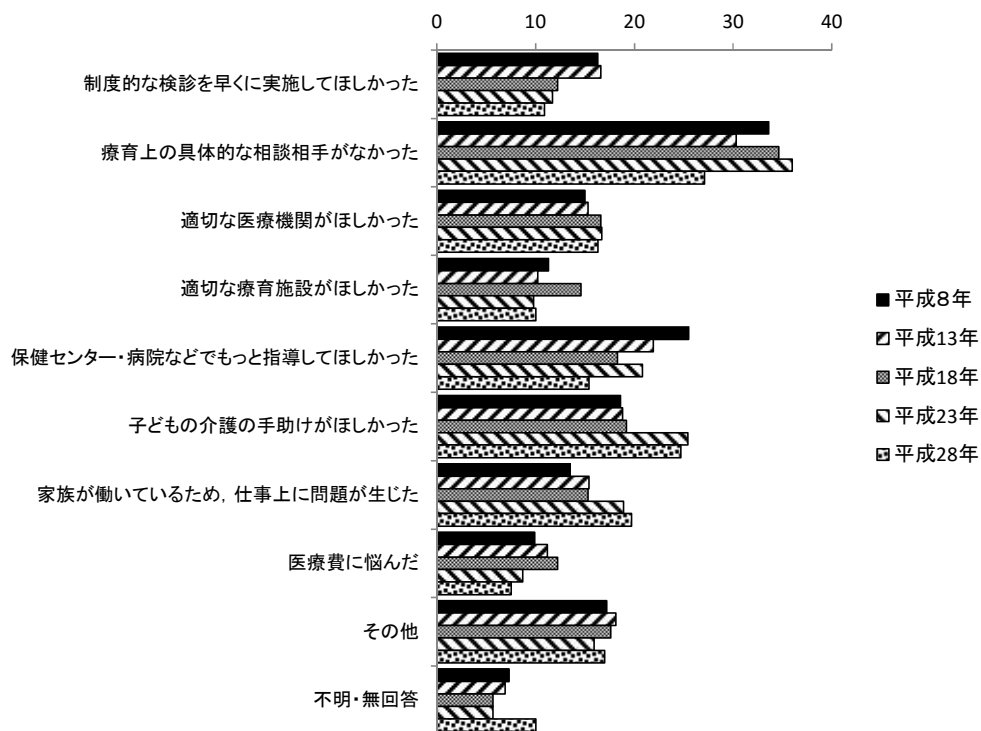


障害判定時の悩み（複数回答）については、「療育上の具体的な相談相手がなかった」が27.1%で最も多く、次いで「子どもの介護の手助けがほしかった」が24.7%、「家族が働いているため、仕事上に問題が生じた」が19.7%と続いている。

問30 障害判定時の悩み（複数回答2つまで）

（単位：％）

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
制度的な検診を早くに実施してほしかった	16.3	16.6	12.2	11.7	10.9
療育上の具体的な相談相手がなかった	33.6	30.3	34.6	36.0	27.1
適切な医療機関がほしかった	15.0	15.3	16.6	16.7	16.3
適切な療育施設がほしかった	11.3	10.2	14.6	9.8	10.0
保健センター・病院などでもっと指導してほしかった	25.5	21.9	18.3	20.8	15.4
子どもの介護の手助けがほしかった	18.6	18.8	19.2	25.4	24.7
家族が働いているため、仕事上に問題が生じた	13.5	15.4	15.3	18.9	19.7
医療費に悩んだ	9.9	11.2	12.2	8.7	7.5
その他	17.2	18.1	17.6	15.9	17.0
不明・無回答	7.3	6.9	5.7	5.7	10.0
合計	168.1	164.7	166.2	169.6	158.6
n	565	590	459	264	442



●災害時の対応

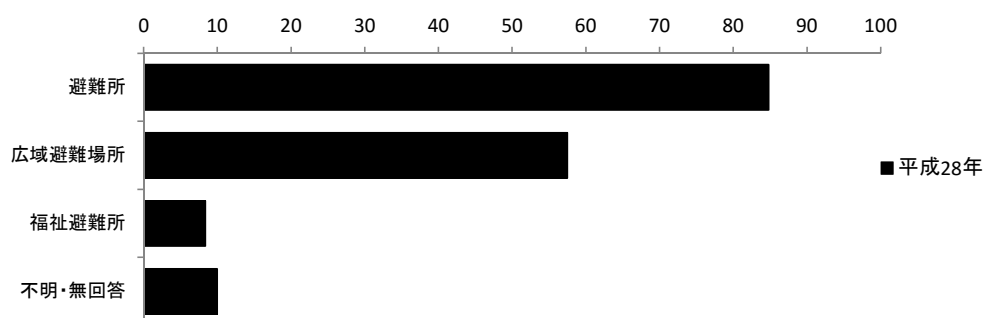
避難場所の認知（複数回答）については、「避難所」が84.8%で最も多く、次いで「広域避難場所」が57.5%、「福祉避難所」が8.4%と続いている。

問32 避難場所の認知（複数回答）*

（単位：％）

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
「一時避難場所」と「広域避難場所」の両方を知っている	38.2	40.7	41.0	56.4	-
「一時避難場所」だけ知っている	14.3	16.1	15.0	16.7	-
「広域避難場所」だけ知っている	24.4	19.5	17.2	9.8	-
両方とも知らない	18.6	21.4	24.8	15.2	-
避難所	-	-	-	-	84.8
広域避難場所	-	-	-	-	57.5
福祉避難所	-	-	-	-	8.4
不明・無回答	4.4	2.4	2.0	1.9	10.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	160.7
n	565	590	459	264	442

* 平成23年度までは単数回答

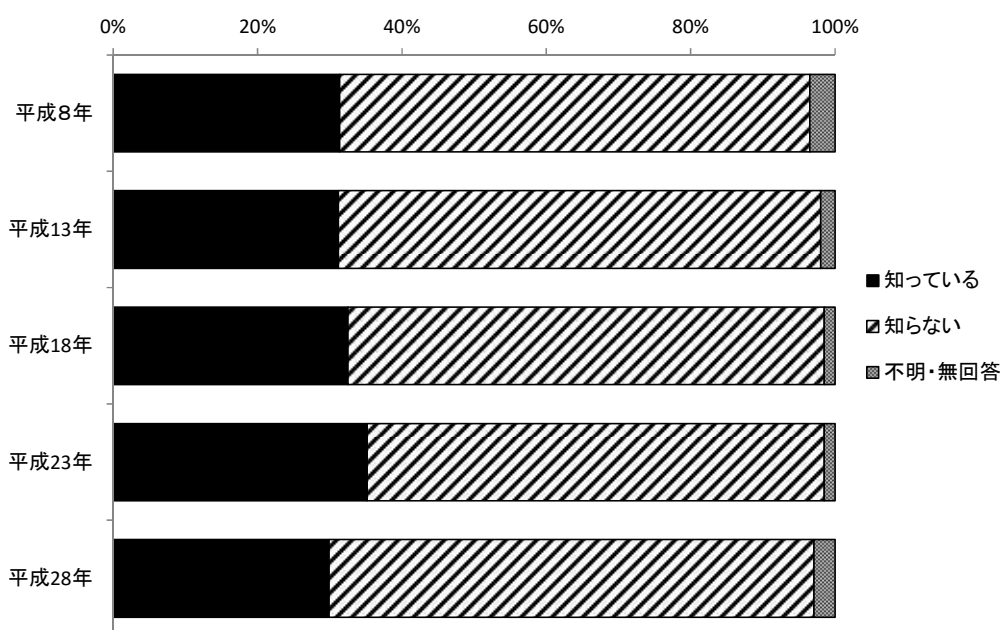


自主防災組織の認知については、「知っている」が29.9%、「知らない」が67.2%となっている。

問3 4 自主防災組織の認知

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
知っている	31.3	31.2	32.5	35.2	29.9
知らない	65.1	66.8	66.0	63.3	67.2
不明・無回答	3.5	2.0	1.5	1.5	2.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	565	590	459	264	442

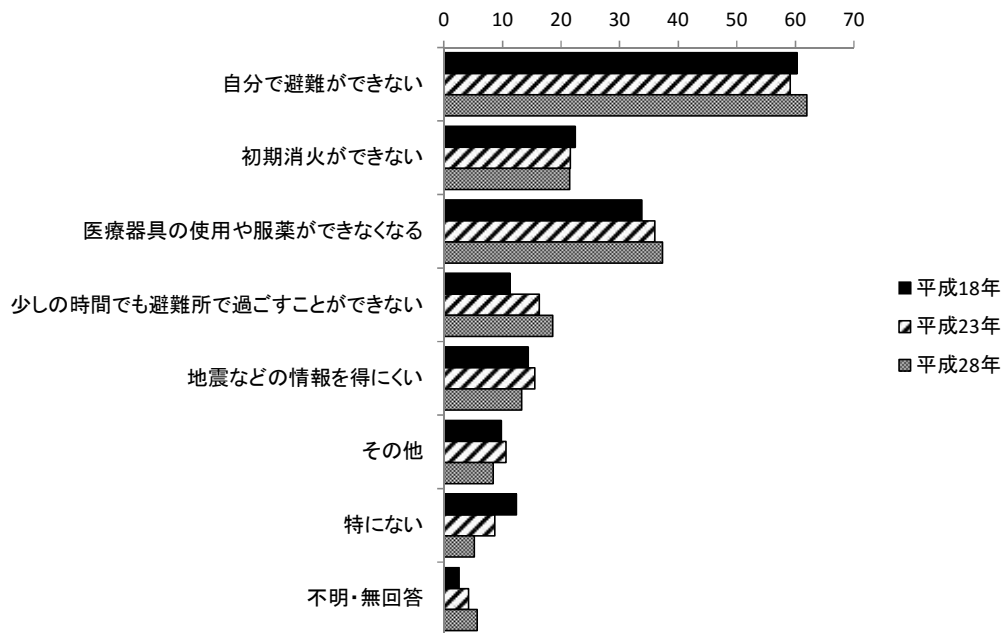


災害時の不安（複数回答）については、「自分で避難ができない」が62.0%で最も多く、次いで「医療器具の使用や服薬ができなくなる」が37.3%、「初期消火ができない」が21.5%となっている。

問36 災害時の不安（複数回答2つまで）

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
自分で避難ができない	60.3	59.1	62.0
初期消火ができない	22.4	21.6	21.5
医療器具の使用や服薬ができなくなる	33.8	36.0	37.3
少しの時間でも避難所で過ごすことができない	11.3	16.3	18.6
地震などの情報を得にくい	14.4	15.5	13.3
その他	9.8	10.6	8.4
特になし	12.4	8.7	5.2
不明・無回答	2.6	4.2	5.7
合計	167.1	172.0	172.0
n	459	264	442



●福祉施策への要望など

福祉施策への要望（複数回答）については、「社会が、障害のある人に理解と関心をもってほしい」が46.8%で最も高く、次いで「サービス・医療の利用者負担の軽減や、公的年金、手当の増額など所得保障を充実してほしい」が41.6%、「日常生活用具、補装具の改善、開発など充実を図ってほしい」が36.0%、「障害のある人が働けるところがほしい」が33.3%と続いている。

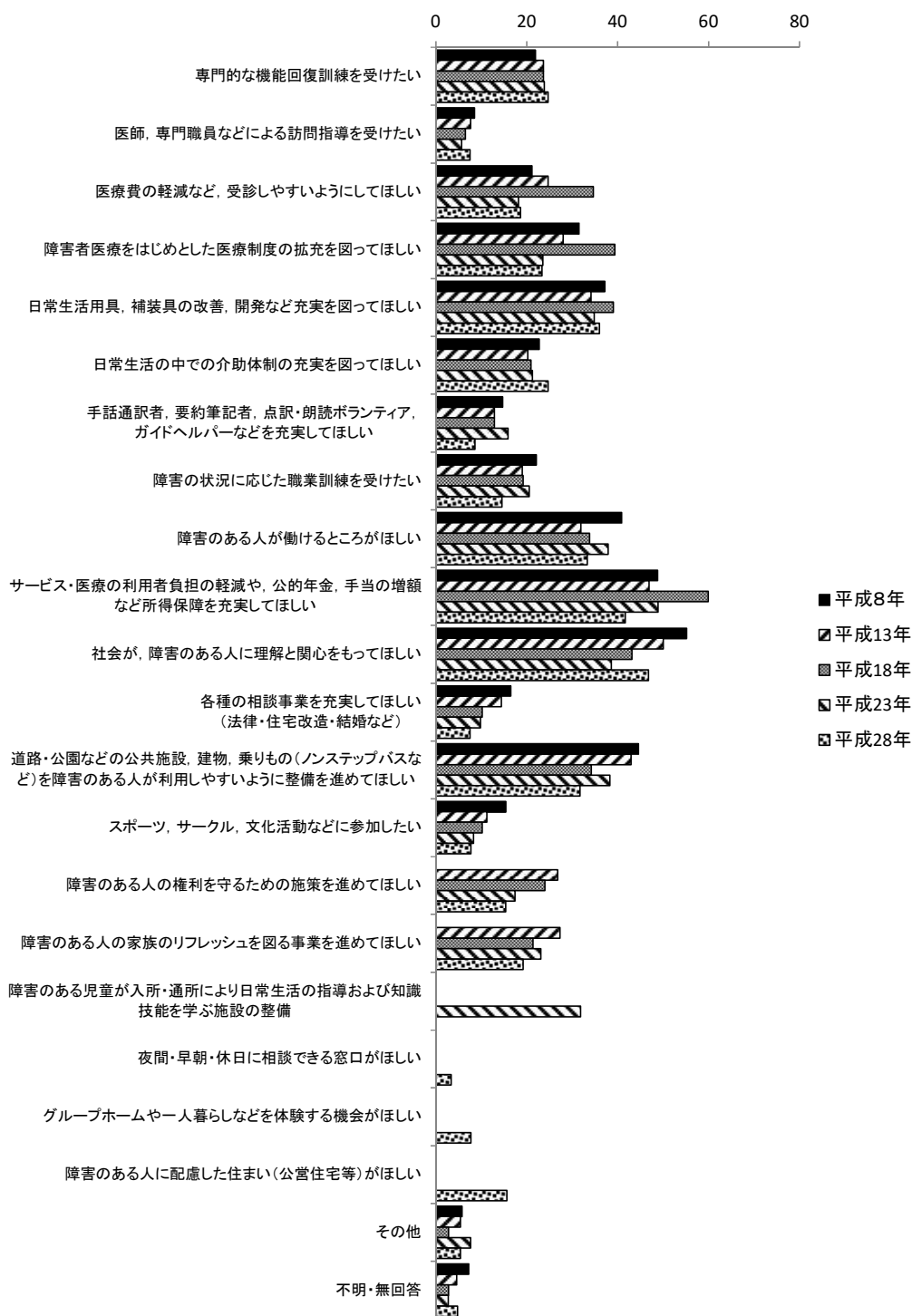
問 4 3 福祉施策への要望（複数回答5つまで）

（単位：％）

	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
専門的な機能回復訓練を受けたい	21.9	23.7	23.7	23.9	24.7
医師、専門職員などによる訪問指導を受けたい	8.5	7.6	6.5	5.7	7.5
医療費の軽減など、受診しやすいようにしてほしい	21.2	24.7	34.6	18.2	18.6
障害者医療をはじめとした医療制度の拡充を図ってほしい	31.5	28.0	39.4	23.5	23.3
日常生活用具、補装具の改善、開発など充実を図ってほしい	37.2	34.1	39.0	34.8	36.0
日常生活の中での介助体制の充実を図ってほしい	22.8	20.2	20.9	21.2	24.7
手話通訳者、要約筆記者、点訳・朗読ボランティア、ガイドヘルパーなどを充実してほしい	14.7	12.9	12.9	15.9	8.6
障害の状況に応じた職業訓練を受けたい	22.1	19.0	19.2	20.5	14.5
障害のある人が働けるところがほしい	40.9	31.9	33.8	37.9	33.3
サービス・医療の利用者負担の軽減や、公的年金、手当の増額など所得保障を充実してほしい	48.8	46.9	59.9	48.9	41.6
社会が、障害のある人に理解と関心をもってほしい	55.2	50.0	43.1	38.6	46.8
各種の相談事業を充実してほしい（法律・住宅改造・結婚など）	16.5	14.4	10.2	9.8	7.5
道路・公園などの公共施設、建物、乗りもの（ノンステップバスなど）を障害のある人が利用しやすいように整備を進めてほしい	44.6	42.9	34.2	38.3	31.7
スポーツ、サークル、文化活動などに参加したい	15.4	11.2	10.2	8.3	7.7
障害のある人の権利を守るための施策を進めてほしい	-	26.8	24.0	17.4	15.4
障害のある人の家族のリフレッシュを図る事業を進めてほしい	-	27.3	21.4	23.1	19.2
障害のある児童が入所・通所により日常生活の指導および知識技能を学ぶ施設の整備 *1	-	-	-	31.8	-
夜間・早朝・休日に相談できる窓口がほしい *2	-	-	-	-	3.4
グループホームや一人暮らしなどを体験する機会がほしい *2	-	-	-	-	7.7
障害のある人に配慮した住まい（公営住宅等）がほしい *2	-	-	-	-	15.6
その他	5.8	5.4	2.8	7.6	5.4
不明・無回答	7.3	4.6	2.8	2.7	4.8
合計	384.1	431.5	438.8	428.1	398.0
n	565	590	459	264	442

*1 平成23年追加項目

*2 平成28年追加項目



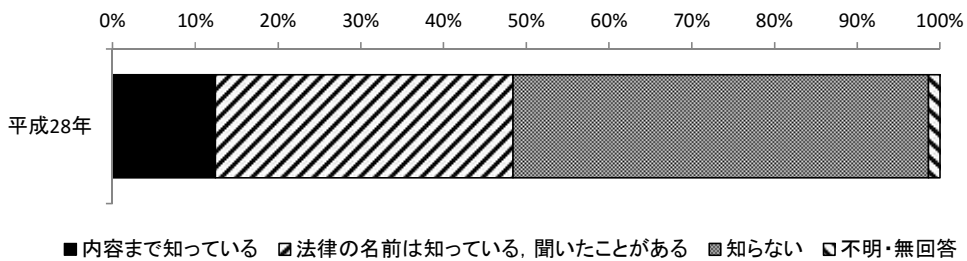
●障害者差別解消法の認知

障害者差別解消法の認知については、「知らない」が50.2%で最も多く、次いで「法律の名前は知っている、聞いたことがある」が36.0%、「内容まで知っている」が12.4%となっている。

問 4 4 障害者差別解消法の認知

(単位：%)

	平成 28 年
内容まで知っている	12.4
法律の名前は知っている、聞いたことがある	36.0
知らない	50.2
不明・無回答	1.4
合計	100.0
n	442



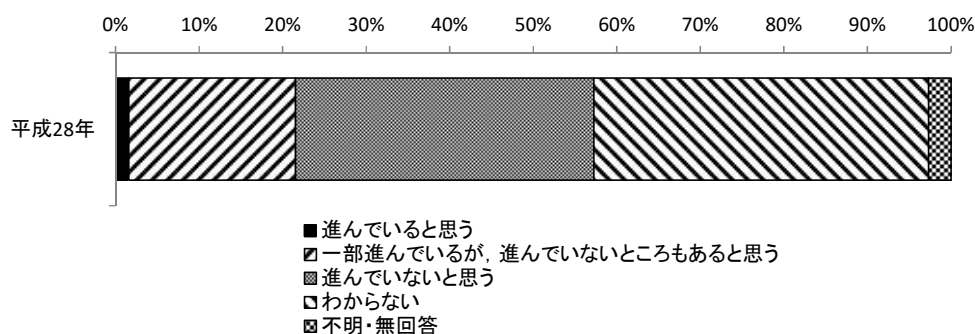
● 「支えあうまち・京都ほほえみプラン」の進捗状況

お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発については「わからない」が40.0%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が35.7%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が19.9%、「進んでいると思う」が1.6%となっている。

問45-1 お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	1.6
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	19.9
進んでいないと思う	35.7
わからない	40.0
不明・無回答	2.7
合計	100.0
n	442

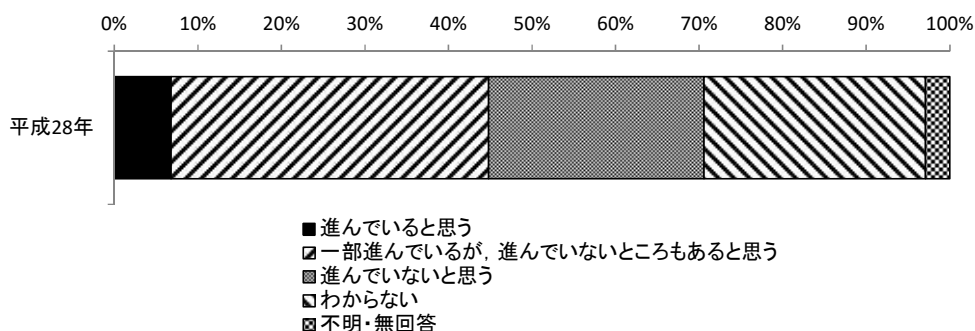


障害児者の地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくりについては、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が38.0%で最も高く、次いで「わからない」が26.5%、「進んでいないと思う」が25.8%、「進んでいると思う」が6.8%となっている。

問45-2 障害児者の地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	6.8
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	38.0
進んでいないと思う	25.8
わからない	26.5
不明・無回答	2.9
合計	100.0
n	442

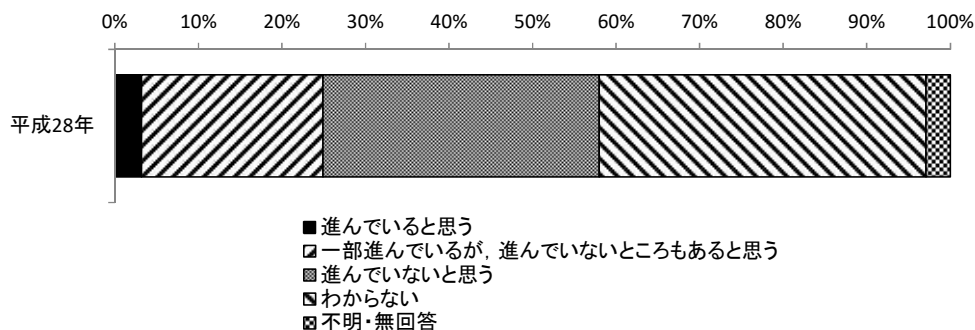


多様な相談に対応できる体制の整備と関係機関の連携体制づくりについては、「わからない」が39.1%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が33.0%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が21.7%、「進んでいると思う」が3.2%となっている。

問45-3 多様な相談に対応できる体制の整備と関係機関の連携体制づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	3.2
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	21.7
進んでいないと思う	33.0
わからない	39.1
不明・無回答	2.9
合計	100.0
n	442

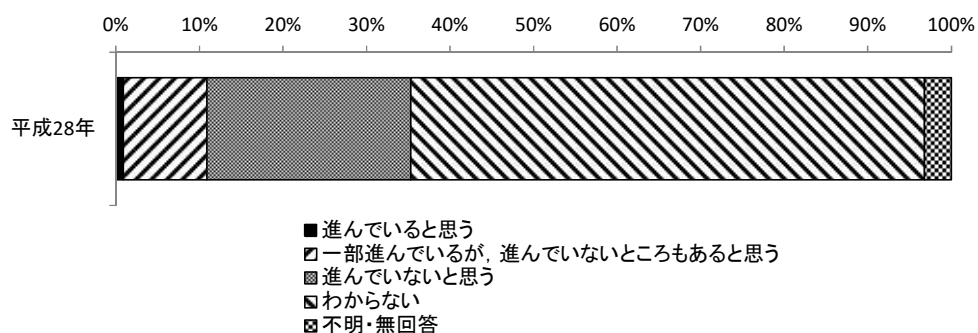


精神疾患・精神障害のある人の治療から地域生活までの支援体制づくりについては、「わからない」が61.5%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が24.4%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が10.0%、「進んでいると思う」が0.9%となっている。

問45-4 精神疾患・精神障害のある人の治療から地域生活までの支援体制づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	0.9
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	10.0
進んでいないと思う	24.4
わからない	61.5
不明・無回答	3.2
合計	100.0
n	442

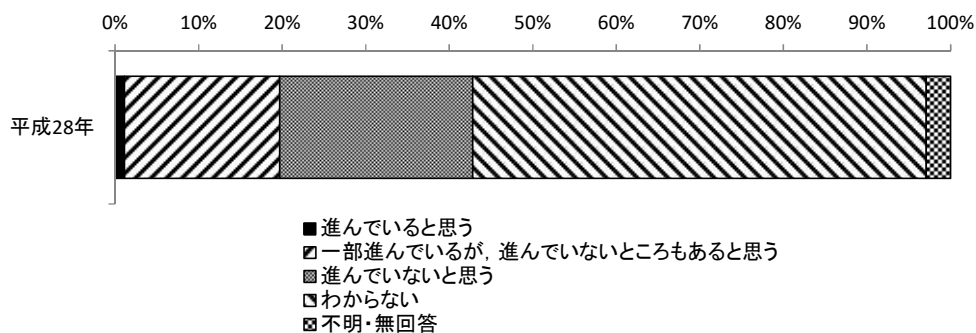


一般就労から福祉的就労までの就労支援ネットワークの構築については、「わからない」が54.3%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が23.1%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が18.6%、「進んでいると思う」が1.1%となっている。

問45-5 一般就労から福祉的就労までの就労支援ネットワークの構築

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	1.1
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	18.6
進んでいないと思う	23.1
わからない	54.3
不明・無回答	2.9
合計	100.0
n	442



人にやさしく安心・安全なまちづくりについては、「進んでいないと思う」が36.7%で最も多く、次いで「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」と「わからない」が同率で29.0%、「進んでいると思う」が2.7%となっている。

問45-6 人にやさしく安心・安全なまちづくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	2.7
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	29.0
進んでいないと思う	36.7
わからない	29.0
不明・無回答	2.7
合計	100.0
n	442

